



Matsumoto

# 松本病院 地域医療連携室だより

## Matsumoto Hospital

発行責任者：独立行政法人国立病院機構 松本病院 院長 岩浅武彦  
〒399-8701 長野県松本市芳川村井町1209番地  
TEL(0263)86-2812 FAX(0263)86-2816 <http://www.hosp.go.jp/~matu/>



国立病院機構 松本病院  
企画課長 小林 賢三



入ったときの印象が二つあります。一つは、駐車場が狭い(駐車場自体も狭いが1台1台のスペースも狭い)のと、もう一つは受付前の待合スペースが汚い(当時、薄汚い間仕切りがあった)というものでした。その後、駐車場については根本的な解決には至っていませんが、職員用の駐車場を外に増設する等の改善を行っています。待合スペースについても外来トイレ等と併せて改修されています。

趣味・特技的なものは自慢する程のものはありませんが、旧車(特に昭和40年～50年代の乗用車)のカタログ、雑誌を見るのが好きです。カタログは小学生の頃から暗海のモーターショーに出かけたり、近所の新車発表会等に出かけたりして集めてきました。特にメカに詳しいという訳ではなく、その時代背景が思い出され、非常にノスタルジーを感じるところがたまらなく好きなのです。例えば、排ガス問題が取り沙汰された時代は、各メーカーが競って独自の技術を開発しあったり、バブル真っ盛りの時代は、今見たら笑ってしまうような装備品が流行したり等…。今後ともこの趣味だけは止められそうもないですね。

現在、企画課長という職に就いていますが、事務部門は企画課と管理課の二課に分かれています。企画課の業務としては、年度計画の策定、決算や財務諸表に関する事、収益や費用の執行計画、債権や債務に関する事、工事・物品・役務等の契約関係、それと医事部門の業務を担当しています。

連携室業務の重要性は職員皆が認識しています。今後とも、益々信頼される病院であり連携室となるよう前進していきたいと思っておりますので、よろしくご指導・ご支援のほどお願いいたします。

当院における地域医療連携室の活動状況をお知らせする「地域医療連携室だより」は、平成16年4月に第1号をお届けして以来、本号で第18号となりました。第1号から第2号発行までの間は少しブランクがありましたが、第2号以降は毎月発行となり、現在にいたっています。

第1号を再度振り返ってみると、岩浅院長の「独立行政法人移行と医療連携室改組のご挨拶」の文面でスタートしており、その中で「地域医療連携室の発展」と「医療効率、経営効率を最大限発揮した病院運営」に努力していくとの考えが示されました。本年実施される診療報酬改定も3期連続でマイナス改定されることが決定されており、病院経営が益々厳しくなっていく将来を考えると、スタッフの一員として、今後も引き続き(今まで以上に)努力

していかなくてはと痛切に実感するところであります。開業されている先生方と、それぞれの機能を持った病院が、良い連携を保ちながら、地域医療に貢献していけたらと考えます。

順が逆となってしまいました。簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれ育ちは群馬県高崎市です。長野県には身近な印象を持っています。真っ先に浮かぶのが美ヶ原とか軽井沢で、自然に恵まれた雄大なイメージを持っています。現在、病院内の宿舎で生活しており、あらためて今年の冬の厳しさを痛感していますが、その思いも毎朝拝むことの出来る綺麗な山並みと空気のうまさで吹き飛ばしてくれます。

転勤族と言うのでしょうか、これまでに度々の転勤を経験し、数えてみたら松本病院が10箇所目の職場となりました。赴任して松本病院に初めて

### 国立病院機構 松本病院の基本理念

- 患者様の立場や権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、患者様中心の医療を行います。
- EBMに基づいた医療を行うことにより、人の生命に関わる専門職として、質の高い医療を責任をもって提供します。
- 和とは連携である。職場の和のみならず、専門技術を総合的に連携させ、チーム医療や地域の医療連携を大切にします。
- チャレンジ精神を持ち、常に前進します。



# 職 場 紹 介



## 1C病棟

春の訪れを心待ちにしている今日この頃です。地域医療連携室だよりをご覧の皆様、如何お過ごしですか。

1C病棟は、母子医療センター内の小児科55床（NICU16床）で、小児救急医療と新生児医療の二つの大きな柱を持ちながら、川崎病など種々の小児専門疾患に対応しています。スタッフは、パワフルで頼りになる医師5名、研修医2名と優しい笑顔と思いやりあふれる看護師長1名、副看護師長1名、看護師21名、看護助手1名が、小児科とNICUチームに分かれ交代制で看護にあたっています。小児は成長・発達の途上にあるため、治療を受けている子どもの成育が妨げられない環境を提供し、入院生活が辛い経験だけで終わることがないように、学んだり、遊んだり、一緒に笑ったり、少しでも成長できるような看護を心掛けています。その一つとしてレクリエーション活動があります。七夕・夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等の季節の行事を行ったり、プレイルームで遊びのケアを行ったりしています。また十分なインフォームドコンセントに基づく医療を施行できるよう、ご家族の方々の声、様々な思いに耳を傾け、患児同様ご家族との関わりを大切にしています。

NICUは、低出生体重児（未熟児）、在胎37週未満の早期産児、新生児仮死などのベビーの治療、看護



## 1C看護師スタッフ

相原師長、小林副師長 他22名

を行っています。当院で出生した全てのベビーは、小児科医が診察します。また受け持ち看護師が中心となり、授乳、沐浴などベビーに対する指導、退院後の生活指導を行うことで、育児への不安が緩和され、良好な母子関係が築けるようお手伝いをしています。小さいながらも日々成長していく赤ちゃんの表情やしぐさに、生命の尊さを実感し健やかに成育されることを願ってやみません。

これからも安心して入院生活が送れ、一日も早くご快癒されますよう、スタッフ一同が一丸となり援助させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



小林 和加子  
（副看護師長）

## 勉強会のお知らせ

地域の皆様方のご参加をお待ちしています。



3月16日(木) 内科・外科勉強会  
19:00~20:00

第2カンファレンスルーム

3月16日(木) 小児科勉強会  
19:00~20:00

会議室



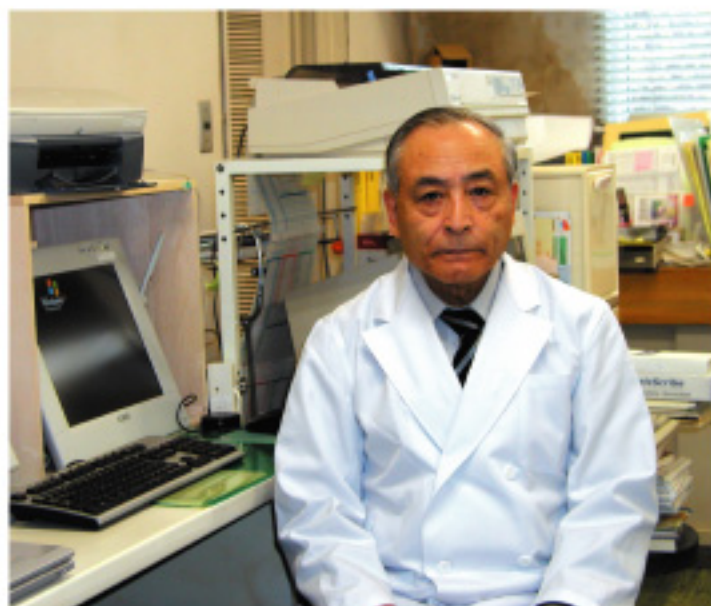
## 松本の歳時記

3/21 お彼岸（春分の日）ぼた餅を食べる。



## 開業医の先生紹介

峯村内科医院  
峯村 直院長



松本病院医療連携室日より、毎月読ましてもらっています。このたび私のところに原稿依頼がまわってきました。こんなことがきっかけで、以前は名前だけ存じ上げている関係でしたが最近医療連携室を身近に感ずるようになりました。医療連携室を通じて患者さんの入院をお願いしたところ実にスムーズに受け入れて頂いて内心驚きかつ感謝したものでした。これまでは親しくしていただいているドクターに直接入院をお願いして来ましたが、医療連携室経由がゴールドスタンダードであると悟りました。

私と松本病院との関係を思い起こしますと旭町にあった陸軍病院跡の国立松本病院にさかの

ぼります。隣接する信大医学部の学生だった私たちは内科と小児科のポリクリで国立松本病院のお世話になりました。その後しばらく関係は途絶えますが、松本病院が村井町の現在地に新築移転して間もなく私は塩尻市に内科医院を開業しましたから、以来松本病院には大変お世話になってまいりました。塩尻市の住民にとっては最終病院といえは松本病院ですので、精密検査、入院治療等で数え切れないほどご迷惑をおかけしました。

ある時期放射線科が主催しておられた早朝のフィルムカンファランスに参加させていただきました。読影の勉強にとどまらず医療進歩の実態、病院の診療姿勢、傾向も理解できて有意義

でした。現在は毎月の内科外科勉強会にできるだけ参加するようにしています。少しでも先生方と親しくなれば相互に有益と思われます。

現在の松本病院を中心とした病診連携はある時期までの国立松本病院と比べたら信じられないくらい円滑に機能しています。こうなるまでの組織改革、意識改革には院長先生はじめスタッフの方々の並々ならぬご苦労が想像できます。絶えざる医学の進歩、患者意識の高まり、ドラスティックな医療制度の変革等医療をめぐる環境はますます厳しくなります。病診連携がさらに重要になると信じます。



峯村内科医院

〒399-0703

長野県塩尻市広丘高出1500

TEL：0263-53-1225

FAX：0263-54-3669



## もの忘れ外来のご案内



もの忘れには、認知症として治療が必要なもの、経過を見る必要のある軽度認知障害(MCI)、正常なものの忘れがあります。神経心理学的検査、画像診断(MRI、SPECT)によりどの分類に属するもの忘れかを診断し、方針をたてることが可能です。もの忘れが苦になる方はご相談下さい。





## 「ICTだより」 を発刊する事になりました…

当初、病院内でのみ認められたMRSAは、今日では市中で一般に見られる細菌の一つとなり、完全に駆逐することが困難なことがわかり、制圧から共存へと考え方も変わってきました。感染症疾患の診療において他疾患と決定的に違うのは、その感染症に対する正しい知識や予防策を持たなければ、医療従事者自身が、感染の危機にさらされる、あるいは、他の人への感染の媒介者になりかねないことです。結核など以前からの感染症に加え、新たな脅威としてSARSや高病原性鳥インフルエンザなどの感染症が出現してきました。こうした感染症に対する新しい情報・知識を診療スタッフ全員で共有するために、迅速で的確な情報発信をおこなうこともICTの重要な使命と考えました。そこで、「ICTだより」を発刊することとなりました。第1回はインフルエンザについてでした。次回は3月発行予定で、HIVに関する話題です。今後も年4回発行予定です。御希望の方はご連絡下さい。



ICD 病棟診療部長 古田 清

## 患者さまの紹介方法

### FAXによる予約

地域医療連携室 (FAX0263-86-2816) に送信して下さい。  
15分以内にお返事を致します。

### お電話による予約

地域医療連携室 (TEL0263-86-2812) までお電話を下さい。  
患者さまのお名前、生年月日、受診希望日をお知らせ下さい。  
日時をお伝え致します。

### ご予約なしの場合

午前8:30～午前11:00までにお越し下さい。  
紹介患者さまは優先致します。

紹介状・保険証等は、  
受診当日 新患窓口  
までお持ち下さい。  
当日は、室員が診療科  
にご案内致します。



当院では、専用の診療情報提供書をご用意しております。  
ご希望される場合は、地域医療連携室までお気軽にご用命ください。

地域医療機関の先生方のご寄稿・ご意見をお待ちしております。  
地域医療連携室 ☎0263-86-2812 征矢まで連絡をお願いします。

独立行政法人 松本病院 外来診療表

平成18年3月1日 現在

診療科名	曜日	月	火	水	木	金
内科	1	上條 敦	小口 悟寛 (腎臓)	山田/永春 (隔週交代)	高橋 寧史	小口 悟寛 (腎臓)
	2	古田 清	青木 雄次 (糖尿・内分泌)	青木 雄次 (糖尿・内分泌)	古田 清	青木 雄次 (糖尿・内分泌)
	3	関村 紀行 (循環器)	矢崎 善一 (循環器)	関村 紀行 (循環器)	熊谷美恵子 (糖尿・内分泌)	矢崎 善一 (循環器)
	5	松林 潔 (消化器)	宮林 秀晴 (消化器)	松林 潔 (消化器)	相澤 徹 (糖尿・内分泌)	宮林 秀晴 (消化器)
	6	北野 喜良 (血液)	熊谷美恵子 (糖尿・内分泌)	城下 智	北野 喜良 (血液)	城下 智
	専門			北野 喜良		
	小児科	1	柴 直子	野呂瀬 昇	北原 正志	竹内さつき
2		竹内さつき	荒井 史	篠崎 康治	柴 直子	北原 正志
3		篠崎 康治			荒井 史	
14-15		専門外来(予約制)	一ヶ月検診	専門外来(予約制)	予約検査	専門外来(予約制)
外科	1	小池祥一郎	岩浅 武彦	小池祥一郎	中村 俊幸	岩浅 武彦
	2	加藤 馨子	中村 俊幸	小松 沙織	加藤 馨子	北沢 将人
	3		北沢 将人			小松 沙織
	13-15		特殊診療		ストマ外来 乳腺外来(清水忠博)	
整形外科		川口 杏夢		青木 薫		中村 功
脳神経外科		渡辺 宣明	渡辺 宣明	渡辺 宣明	(予定手術)	渡辺 宣明
	14-15			もの忘れ外来		
皮膚科		徳田 安孝	徳田 安孝	徳田 安孝	塩原/小金平 (隔週交代)	徳田・清水
	午後			アレルギー外来	手術	
泌尿器科		米山 威久	紺谷 和彦	小宮山 斎	酒井 宏昌	小宮山 斎
婦人科		石橋 武蔵	山田 香織	野池 雅実	山田 香織	野口 浩
	午後	山田 香織	石橋 武蔵	山田 香織	石橋 武蔵	野池 雅実
産科	午後		手術	癌検診 (野池・石橋) 母親学級 (石橋)		手術
眼科		松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦	松尾 俊彦
			初診のみ			
耳鼻いんこう科		後藤 昭信	後藤 昭信	特殊診療	後藤 昭信	後藤 昭信
放射線科		伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子	伊藤 敦子
		越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩
						小岩井慶一郎
麻酔科 (ペインクリニック)			井上 泰明 (予約制)			

(医師交代などで変更する場合があります)

診療受付時間	初診 8:30~11:00	土・日・祝日 休診
	再診 8:30~11:00	
面会時間	平日 15:00~19:00	土・日・祝日 13:00~19:00

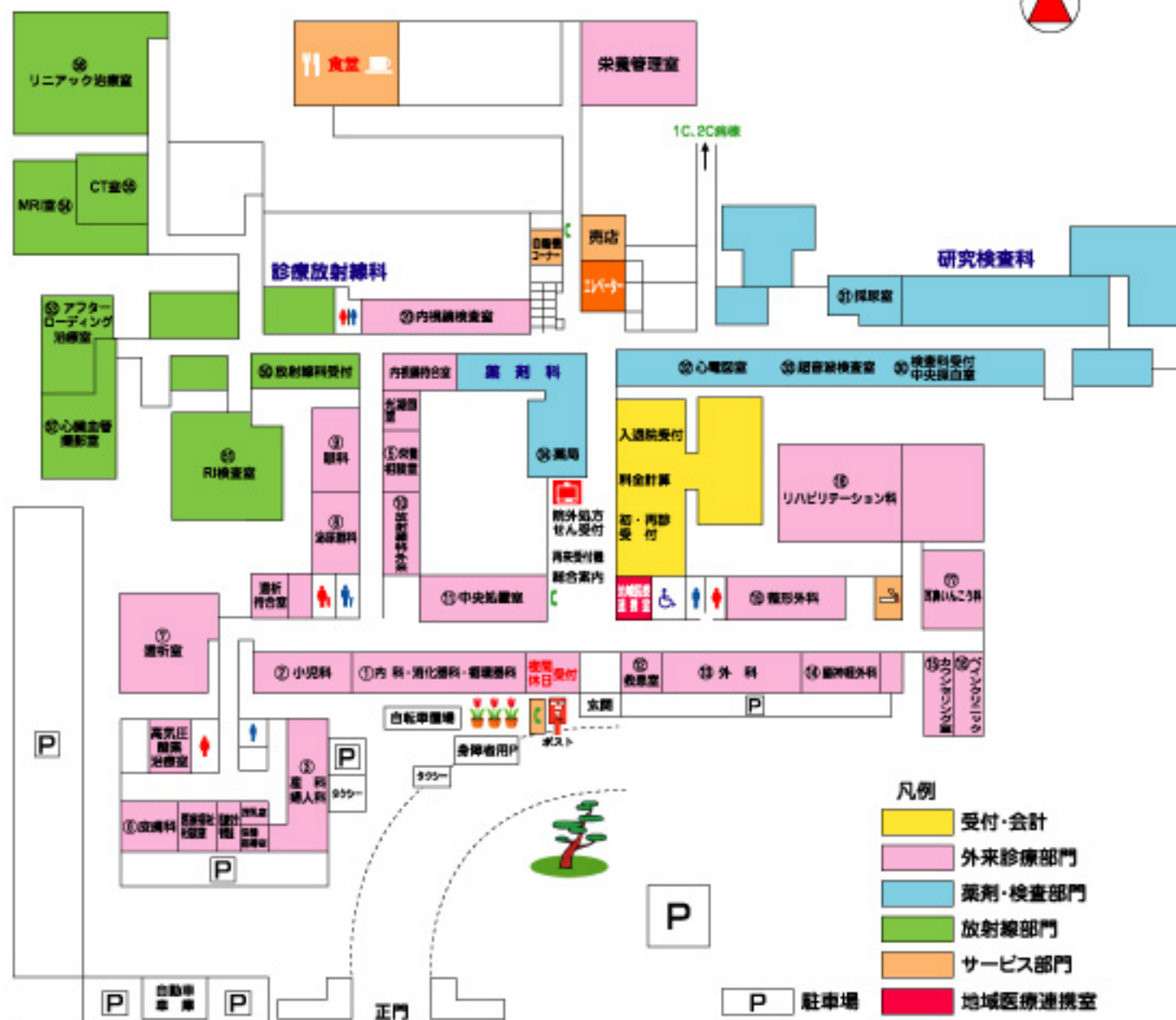
Tel 86-2812

Fax 86-2816



# 外来診療科案内図

(すべて1階フロアにあります)



- 凡例
- 受付・会計
  - 外来診療部門
  - 薬剤・検査部門
  - 放射線部門
  - サービス部門
  - 地域医療連携室

← 国道19号線 方面  
村井駅

## 交通案内



独立行政法人 国立病院機構 **松本病院 地域医療連携室**

〒399-8701 長野県松本市芳川村井町1209番地  
TEL.0263-86-2812 FAX.0263-86-2816